

お断り...難しい内容を、難しく書いても、さくっとスクロールされてしまうので(笑)、わたくしのあだ名のみっちゃんを使い、「みっちゃんEYES」という箇所を作り、簡単な感想、つたない疑問、考えをまとめています。クラブ会員も出てきます。飽きずにお読みください。皆でロータリーのこと、学んでいきましょう。

2019年9月21日に中津商工会議所で実施された2019-2020年度国際奉仕部門・ロータリー財団部門2部門合同セミナーへ、早水会長、花田国際奉仕委員長、高山奉仕プロジェクト委員長、松浦(R財団委員長)で参加しました。

開会点鐘、国歌、ロータリーソング斉唱後、セミナーが始まりました。

冒頭、瀧満がバナー挨拶の主旨は以下の二つでした。

**・RIの流れ ロータリー=『国際奉仕の流れ』であるということ、行動すること、奉仕活動をしっかりとすることがロータリアンとしては重要で、その中で柱になるのが、「国際奉仕」**

**・「ロータリー財団」、ロータリアンからの「寄付」がどのように使われているかを、会員が理解することが非常に重要**

国際奉仕部門 小野健介部門長からは、マローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」瀧がバナースローガエ「さあ、ロータリーの大海へ漕ぎ出そう」を引用し、国際奉仕部門の役目、重要性についてのご挨拶がありました。

ロータリー財団部門 川崎誠治部門長からは、地区補助金委員会、資金推進委員会、財団資金管理委員会、グローバル補助金・ポリオプラス委員会について本日は後半部分に各委員会がプレゼンテーションを行うのでしっかり学んでほしいとのご挨拶がありました。

<<国際奉仕部門パート>>

国際奉仕部門アンケートの集計結果発表

国際奉仕部門アンケートの集計結果を用い、今年度の集計結果の発表がありました。

アンケートの集計結果を見ると、2720地区で、国際交流をしているクラブは2720地区で半分に満たない46%であることなどが発表されました。

その後、別府RC、日田RC、八代南RCなどの2720地区内クラブで、他国(例:スリランカ、ミャンマー、タイ、オーストラリア、ギニアなど)での国際奉仕事業例が発表されました。

国際奉仕事業例一部紹介

スリランカ日本語学校に国際交流

タイ公立病院へ医療器材の寄贈

セブ島井戸掘り事業

国際奉仕事業を運営するにあたり、実施クラブより発表された「気づき」

・良かった点

: 人道的活動・疾病予防と治療に貢献できた、国際貢献できた、子ども達に喜ばれた。

・難しかった点問題点

: 言葉の違いによる押しの疎通がしづらい、一部のメンバーしか参加していない、クラブ会員全員の協力が無いとなかなか実行は難しいと感じたなど

改善点も発表されました。相手国ロータリークラブとの友好関係が必要であること、国際的な観点から、日本と相手国との違いを十分理解し、その点を熟知したうえで慎重かつ前向きに事業を推進していくことに尽きるなどの改善案などについての集計結果が発表されました。

次に、実際に、グローバル補助金を使用した別府北RCより、タイ国公立病院への医療器材の寄贈と治療技術の向上「腎臓病予防啓発セミナー」の実施プロジェクトについての詳細の説明がありました。

事業総額94.479ドル（11,300,000円）規模の事業につきグローバル補助金を使った「腎臓病予防啓発セミナー」の実施プロジェクトであったこと。

参加ロータリークラブにつき、ホストクラブ（実施国）、パートナークラブ（援助国）が必要であること、マッチンググラントという仕組みについて、別府北RCの日本国内2つのパートナークラブについて、などの説明ののち、補助金システムについての説明と寄贈品およびセミナー費用と拠出金内訳についての短い説明がありました。

成功の鍵を握るのは、信頼できるキーパーソンがいるかどうか、工程管理、予算管理、モニタリング、報告が必要なので、担当者間で緊密な「コミュニケーション」が取れることが重要である、との話がありました。

セミナー後の瀧ガバナーからの講評内容は、世界を変える「行動人」として、「国際奉仕部門」で、クラブで国際貢献に取り組んでいただきたいといった内容でした。

みっちゃんEYES⇨いつか、規模が小さくても良いので世界を変えるようなプロジェクトを、2720Japan OK ロータリーEクラブのメンバーでやってみたい。クラブのメンバーに、どんな活動をして、「世界をより良い場所」にしていくか、それぞれの思い、お話を聞いてみたいな。内外に、信頼できるキーパーソンがいないとどんなビジネスでも難しいよね。

10分の休憩をはさみ、ロータリー財団部門のセミナーが開始しました。

補助金管理セミナーについて

第2部開始

ロータリー財団部門 川崎部門長より新しく「プライバシーポリシー」の発表と個人情報の取り扱いについての話がありました。（配布資料冊子3ページ掲載 PDFファイル参照）

各員会より発表

資金推進委員会

ロータリー残団への寄付の種類には3種類があること。

- ・年次基金 1000ドル以上の寄付者をポールハリスフェローという、3年後に全額プロジェクトに使用される
- ・恒久基金 1000ドル以上の寄付者をベネファクターという、基金として積み上げ、元金には手をつけずに運用のみを使用
- ・使途指定基金 ポリオプラスへの寄付やグローバル補助金への拠出金が該当する

R財団クラブ別寄付状況が発表されました。O.K.Eクラブの寄付金額は以下の通りです。

2016～2017年 寄付総額240

2017～2018年 寄付総額3467

2018～2019年 寄付総額4190

年々寄付総額は増えているのですが、会員1名平均の寄付額については、地区内クラブ平均を下回っているのでクラブ内での更なる啓蒙の必要性を感じました。

寄付金の流れとして、年次基金を寄付すると、地区活動資金、国際活動資金として半々で分けられるが、10000円寄付して7500円は事業で使用できるシステムであることが強調されました。

## 地区補助金員会

地区補助金のことを、DGと呼ぶこと。

ロータリー財団の基本的なプログラム

- ・地区補助金を利用したプログラム
- ・グローバル補助金を利用したプログラム

これらの補助金を利用して、人道的、教育的プログラム等が実施されています。教育的プログラムには、ロータリー奨学金なども含まれます。

地区補助金には、支給基準があり、ロータリー財団の使命に関連していることが条件です。

1、ロータリー財団の使命とは、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

ポイント 「人道的」「環境保全」「教育的」

2、ロータリアンが積極的に関与すること。

ロータリアンが、奉仕プロジェクトに直接参加し、汗を流し、知恵を絞って活動すること。

本年度の申請状況は、前年度に比べて増えているとのことでした。

当クラブの親クラブ（スポンサークラブ）である大分キャピタルロータリークラブは、青少年交換留学生支援事業を申請し、事業総額800,000円、地区補助金申請額400,000円、青少年の「教材」「制服」などに使用されたそうです。

印象的な言葉と気づき・・・

- ・ロータリー財団は、他の奉仕団体とは異なり、全ての寄付金を奉仕活動に使用していること。
- ・貴重な寄付金を使って色々なプロジェクトを実行するのは、我らロータリアンであること。
- ・「寄付をする」だけでなく、「有効に使う」ことが大事であること。

みっちゃんEYES➡

- ① 今は、他のクラブがしている世界を変える活動を応援しよう＝寄付がとても大事。でもいつかは、Eクラブのネットワークの軽さを生かし、Eクラブでも、交換留学生を受け入れたいなあ。
- ② 青少年育成プログラムでアメリカに留学したわたくしは、ロータリーの恩恵を受けて留学できた。次世代に恩返ししたいなあ。
- ③ いつか、みんなで、直接参加し、汗を流し、知恵を絞って活動したい。そのためには、ロータリーのこと「何ができて」「何が必要なのか」勉強しないとイケない。

## 財団資金管理委員会

事務的な手続きについての説明がありました。

グローバル補助金について

国際的な活動に関して使える補助金であるとのことでした。

- ・平和と紛争予防・解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・経済と地域社会の発展
- ・基本的教育と識字率向上

上記の『6つの重点分野』にしか使えないものです。

みっちゃんEYES➡「女の子」として生まれただけで、学校に行けない子ども達。幼児婚を強いられる国の若すぎる妊娠出産、若すぎる母親の知識がないために亡くなる赤ちゃん。世界の8億8千万人の人達が飲んでいる「汚染水」世界の人口のうち12%、トイレがない13億3千万の世界の18%の人達、貧困からの脱却に、クラブとして何かできることがないか。海水を真水にできないの？またその重点項目に関わる未来の人財への奨学金支援。サポート。朋代会員がいるから、医療の分野はエキスパートがいるね。井田会員・津島会員がいるから、最貧国で差別を受ける子どもへ「基本的教育」を、そして、いつか「弁護士」に。

夢を語るのは簡単だ。非現実的な大きな支援ではなく、クラブの身の丈に合う支援がいつかできたら。そのためには、メンバーとのコミュニケーション、親睦、クラブビジョンが欠かせないね。

グローバル補助金地区基準

気づき・・・

グローバル補助金の基準は色々あるとのことでした。

①一事業当たりの予算は、30,000ドル（日本円324万円）を超える事業であること

②クラブの負担は、1000ドル以上最低108,000円であること。

(もう少し勉強が必要、よく仕組みが分からなかった)

各クラブに配布されている「地区補助金ハンドブック」などで詳細に理解したいと思います。

みっちゃんEYES➡

- ① グローバル補助金をクラブで使うとなると全員とコンセンサス、全員の「やろう！」「もっと良い世界作ろう！」が必要。安部会員がよく言う「どんな背中を子どもたちに見せたいのか。」
- ② 構想はいいが、相手国を見つける、手助けをしてくれるパートナークラブ必要。時間がかかるね。
- ③ クラブメンバーで視察に行ったり、相手国とのやり取りが必要。Eクラブには、宮迫会員、花田委員長、朋代ドクターをはじめ、英語が話せるメンバーが沢山いるなあ。
- ④ 早水会長の言う「ロータリーのことを知ること」が大切なんだな～。

ポリオ根絶のためのポリオプラス委員会

ポリオとは、小児まひと呼ばれる病気です。

ポリオウィルスは、人から人に感染。主な原因は、汚染水。今年の世界ポリオデーは2019年10月24日。

ポリオが残る国は、あと3か国。

ロータリー平和フェロシップについて

ロータリー平和センターというセンターがあり、平和センターのビジョンは「持続可能な平和」。

毎年100名、18年で1800名の「ロータリー平和フェロー」と呼ばれる、平和の構築者という高いスキルを持ったリーダーの育成をしています。

瀧ガバナーから「ロータリー財団＝ロータリー 職業奉仕という伝統奉仕は心の糧にしながら、国際奉仕に取り組むことが日本のロータリーが継続する道である。TAKE ACTION。ロータリーに入っている誇り。」との講評がありました。

まとめ➡

- ① 今は、他クラブが実施しているプログラムを応援するためにも、「寄付」をすることで、世界をより良い場所にしましょう。寄付をすると言うことは、世界中の奉仕活動に参加していることになるんだなあ。全ての寄付金は「奉仕活動」に使われるんだ！

R財団クラブ別寄付状況が発表されました。O.K.Eクラブの寄付金額は以下の通りです。

2016～2017年 寄付総額240

2017～2018年 寄付総額3467

2018～2019年 寄付総額4190

では、今年は？ それぞれができる範囲で世界のために、寄付をしましょう。

- ② 「今」の私たちでできること。今後の私たちができること。今しなければならないこと。  
みんなで学びながら、考えていけるとイイですね。
- ③ R財団について、グローバル補助金を含む補助金や使い道を勉強することが、ロータリーの神髄を知ること  
であると思いました。

以上、合同セミナーに参加した、まとめでした。